

第125号
中学生特集

藤枝明誠ニュース

FUJIEDA MEISEI News

発行 学校法人 藤枝学園 藤枝明誠中学校・高等学校 渉外課広報担当 / Tel 054-635-8155 / Fax 054-635-8494 / Email meisei@fgmeisei.ed.jp / URL https://www.fgmeisei.ed.jp

10月28～31日 中学3年生修学旅行 新しい発見がいっぱい!いざ!古都散策



奈良 京都



京都 ◆ 10月30日
↓ 都市内タクシー研修
↓ 嵐山周辺散策
↓ レストラン嵐山(昼食)
↓ 学校着



修学旅行での学び

J32HR 大畑 欽奈
(藤枝市立大洲小学校出身)

私たちは10月28日から31日までの4日間、修学旅行で奈良・京都に行きました。そこでいろいろなことを学ぶことができました。

1つ目はルールを守ることの大切さです。私たちが訪れた場所には、平安時代から鎌倉時代にかけて作られ、職人さんや地元の方たちの手によって守られてきたものが多いです。普段あまり見ることができない国宝や重要文化財を実際にみることで、今年からはガイドさんの説明をイヤホンを使って聞くことができ、細かいところまで学ぶことができるいい機会になりました。

この4日間で学校の授業とは異なり、現物を見たり体験することで日本の歴史の奥深さに触れることができ、私が知らなかった日本を認識することができました。

とともに

J31HR 岩ヶ谷 龍聖
(島田市立初倉南小学校出身)

私たちは、10月28日から31日の4日間で京都・奈良に修学旅行に行きました。今回の修学旅行では、普段の学校生活では得られない貴重な体験ができました。友達と協力する中で、仲間

法隆寺など、歴史的に有名な場所を訪れました。教科書で見た建物を実際に目にし、歴史の重みを感じました。3日目はタクシーで京都を巡り、見学する場所や昼食の時間を自分たちで決めました。これはとても大変で、いつも旅行の計画を立ててくれる両親への感謝を心から感じました。タクシーの運転手さんが面白い解説をしてくれて、とても楽しかったです。中でも金閣寺が最も印象的でした。陽光に照らされて、金箔がこぼれ落ちて輝く姿に圧倒されました。そして、現金をタクシーに忘れてしまったとき、御朱印代を貰ってくれた友達も輝いて見えませんでした。

マナーを守りながら楽しむことができ、とても良い修学旅行になりました。

法隆寺など、歴史的に有名な場所を訪れました。教科書で見た建物を実際に目にし、歴史の重みを感じました。3日目はタクシーで京都を巡り、見学する場所や昼食の時間を自分たちで決めました。これはとても大変で、いつも旅行の計画を立ててくれる両親への感謝を心から感じました。タクシーの運転手さんが面白い解説をしてくれて、とても楽しかったです。中でも金閣寺が最も印象的でした。陽光に照らされて、金箔がこぼれ落ちて輝く姿に圧倒されました。そして、現金をタクシーに忘れてしまったとき、御朱印代を貰ってくれた友達も輝いて見えませんでした。

マナーを守りながら楽しむことができ、とても良い修学旅行になりました。

体験からの学び

J32HR 浜田 知哉
(藤枝市立青島小学校出身)

私たちは10月28日から4日間の修学旅行に行きました。その間にいろいろな場所を訪れ、新しいことを知ったり成長したり、印象に残ったことがたくさんありました。

のですが、1日目は抹茶体験です。最初は堅苦しいイメージを持っていましたが、そんなに怖くないと聞き安心しました。そして実際に体験してみると泡立てるのが難しかった

のですが、1日目は抹茶体験です。最初は堅苦しいイメージを持っていましたが、そんなに怖くないと聞き安心しました。そして実際に体験してみると泡立てるのが難しかった

のですが、1日目は抹茶体験です。最初は堅苦しいイメージを持っていましたが、そんなに怖くないと聞き安心しました。そして実際に体験してみると泡立てるのが難しかった

私たちができること

J31HR 岡本 理花
(焼津市立黒石小学校出身)

私たちは中学3年生は10月28日から31日までの3泊4日で奈良と京都へ修学旅行に行ってきました。奈良では主にお寺や神社について学びましたが、中

の通り仏像等がなく過ごしやすい場所を感じました。抹茶を点てるという貴重な体験もみんなできて良かったです。

京都ではグループでタクシーを利用した観光や、嵐山散策をしました。タクシーは普段乗る機会がないので緊張しましたが、グループの友達と行きたい所へ行き、とてもいい経験になりました。

私はこの3泊4日の旅行を通して、世界文化遺産が今も昔と変わらない状態で受け継がれていることは、昔から人々が大切に護ってきたのだと改めて知ることができました。今回学んだことを言葉にして伝えていくことは、この先も世界文化遺産を守り続けることとして自分達のできることをと思いました。

好奇心と体験で掴む、本物の知識。

中学2年生 オータムキャンプ

10月29日、30日、中学2年生はオータムキャンプに行き、東京大学やJICAなどを見学しました。大学や将来の職業について関心が深まりました。

◆10月29日

学校出発

◎横浜中華街(昼食・散策)

◎日本アセアンセンター(J21)

◎WFP協会(J22)

◎新宿三井ビル

◎JTBスポーツマーケティング事業部

◎東京大学

◎宿泊(ホテルイースト21)

◆10月30日

◎JICA地球ひろば

◎科学技術館

◎学校到着



東京大学 赤門前に集合!

礼儀を学んだ2日間



J21 HR 平野 翔大
(藤枝市立高洲南小学校出身)

私たちは神奈川県と東京都へ1泊2日のオータムキャンプに行きました。私は研修で、職業に対する関心や興味を深めることも、礼儀について学ぶことができました。JTBスポーツマーケティング部では名刺交換の仕方を指導してもらいました。私たちのために一人ひとりの名前が入った名刺を用意してくださりました。渡し方から受け取り方まで説明してくださり、社会で働く人の姿勢の研修では、名刺交換やテ-

や心遣いを身近に感じながら学ぶことができました。そして社員の方が働いている様子を特別に見学させてもらいました。社員の方が仕事に取り組む姿から、責任感やプロ意識を強く感じ取れました。1日目の締めくくりとして、ホテルでのテーブルマナーの講習を受けました。将来必要になるナイフとフォークの持ち方が置き方のマナーを学ぶことができました。今回の研修では、名刺交換やテ-



科学技術館でシャボン玉の中に入ることができるアトラクションを体験



横浜中華街を散策



JTBスポーツマーケティング事業部の方の講義

中学1年生 地域探訪

10月29日、中学1年生は地域探訪として竜ヶ岩洞、中日新聞浜松都田工場へ行きました。自然の美しさや新聞の魅力に触れる良い機会となりました。

◆10月29日

学校出発

◎竜ヶ岩洞

◎浜松フラワーパーク

◎中日新聞浜松都田工場

◎藤枝駅



浜松フラワーパークで集合写真♪

自然が作った芸術作品



J12 HR 増田 千尋
(藤枝市立高洲南小学校出身)

お互いが心地よく関われる環境を作りたいです。

私たちは、フィールドワークで浜松フラワーパーク、竜ヶ岩洞、中日新聞浜松都田工場に行きました。その中でも私は竜ヶ岩洞が強く印象に残りました。中を進むにつれ、鍾乳石が大きくなっていきます。その中には「黄金の富士」や「知の七福神」など、名前のついているものもあり、人間の想像力と自然の素晴らしさを感じました。鍾乳石は1cm伸びるのに約100年かかると言われていて、竜ヶ岩洞にはそれが約1000mもあることを知り、とても驚きました。ほかに、竜ヶ岩洞には新種の生き物もいるそうです。興味深いことがたくさんあるので、これからも調べてみたいですね。



このフィールドワークを通して学んだことは、人間の力です。自然が創ったものを見つけ出す力、毎日当たり前のように目にする新聞がこんなにたくさんあるのにかかっているのを知り、人間の発見力や行動力は素晴らしいものなのだと改めて感じました。今回の体験を忘れずに、今後の学校生活をより豊かにしていきたいと思っています。

今年も開催! DANCE DAY

11月25日、中学行事として恒例のダンスデイが行われました。10月から体育の授業で取り組んできた成果を発表する機会となりました。各学年の色を出し、独創的なダンスや振り付けで、その表現力は大変素晴らしいものになりました。約100名の保護者の来校もあり、大いに盛り上がりました。今年も3年生が主体となり運営を行い、ダンスだけでなく、集団での協調性を下級生に見せてくれたと思います。中学部全体で、今後の生活に生かしていただきたいと思います。



J31 HR 板野 なな子
(藤枝市立大井川東小学校出身)

絆を深めたダンスデイ

私はダンスが好きです。ダンスが好きなのはもちろんですが、チームみんなで構成を考えて一つの作品を作るのが、とても楽しい時間だと感じるからです。今回のダンスデイでは、学年を問わずそれぞれのチームの一体感が躍りました。放課後みんなで練習したことが特に印象に残っています。『学年みんなで』という機会が今までにあまりなかったの、お互いのことをもっと知ることができ、更に絆を深める良い時間になりました。残りの4ヶ月も楽しく充実した中学校生活を送っていきたいです。



行事で体験した感動と絆、共に学んだすべてが自分自身の成長につながる！

令和7年度の行事を振り返る

4月

- ◎ 前期始業式
- ◎ 入学式
- ◎ 集団宿泊研修(高1)
- ◎ オリエンテーションキャンプ(中1)
- ◎ スプリングキャンプ(中2)
- ◎ フィールドワーク(中3)
- ◎ 遠足(高2・3)

5月

- ◎ 定期テスト 前期①
- ◎ スポーツデイ(中学)

6月

- ◎ 青藍祭
- ◎ 吹奏楽定期演奏会

7月

- ◎ 定期テスト 前期②
- ◎ 球技大会(高校)

8月

- ◎ 大洲小中学校学習ボランティア(高校)
- ◎ English Summer Camp (高1国際教養)
- ◎ TGG研修(高2国際教養)

9月

- ◎ 藤枝学園創立記念日
- ◎ 定期テスト 前期末

10月

- ◎ 後期生徒会長選挙
- ◎ 前期終業式
- ◎ 後期始業式
- ◎ 体育大会
- ◎ 地域探訪(中1)
- ◎ オータムキャンプ(中2)
- ◎ 修学旅行(中3)

- ◎ 順心幼稚園とハロウィンパーティ (国際教養)

11月

- ◎ 芸術鑑賞教室
- ◎ 定期テスト 後期①
- ◎ ダンスデイ(中学)
- ◎ 修学旅行(高2)

12月

- ◎ 共通テスト対策勉強会

令和8年

1月

- ◎ 定期テスト 後期②(高1・2)

2月

- ◎ 寒稽古(高校)
- ◎ 耐寒持久走(中学)

3月

- ◎ 卒業式
- ◎ 定期テスト 学年末
- ◎ 球技大会
- ◎ 後期終業式
- ◎ 中学修了式(中3)



10月21日(火)中1から高3までの各クラスが赤団、青団、黄団の3つに分かれ競い合いました！



成長を感じた一日



普通科総合コース
22 HR 森田 一真
(愛知県瀬戸市立丘中学校出身)

私は今回の体育大会を、体育委員長という立場で過ごしました。今年の体育大会は後期に行われたため、後期体育委員長の私が様々な役割を務めさせていただきました。競技時のルール説明やラジオ体操など、全校生徒の前に立つ役割だったため、緊張や不安はもちろんです。予行練習も本番もミス無く、自信を持って行うことができました。



私は今回の体育大会を、体育委員長という立場で過ごしました。今年の体育大会は後期に行われたため、後期体育委員長の私が様々な役割を務めさせていただきました。競技時のルール説明やラジオ体操など、全校生徒の前に立つ役割だったため、緊張や不安はもちろんです。予行練習も本番もミス無く、自信を持って行うことができました。

芸術鑑賞教室で伝統を学ぶ



出演：和太鼓 志多ら

志多らは、伝統芸能の宝庫、愛知県奥三河を拠点に活動する、プロの創作和太鼓集団です。地域に根を張ることで生きた文化の礎にふれ、伝統を受け継ぎながら新たな文化を創造。30年以上の歴史を持ち、プロの和太鼓集団として日本全国のみならず、世界で活躍。毎年恒例となった師走公演や各種コンサート、イベントでの演奏、ワークショップなど様々な活動を行っています。

英数科プログレッシブコース
29 HR 折田 日彩
(藤枝明誠中学校出身)

今年度の芸術鑑賞教室は和太鼓などの演奏活動をしていってほしいという『和太鼓志多ら』の皆様によるパフォーマンスでした。志多らは日本だけでなく、アメ

伝統を継ぐもの

リカッパなど世界でも活躍しているため、演奏を聴く前から本音にわくわくしていました。曲の題名の多くは自然や祭りから取られており、題名の通り雄大な自然やにぎやかな祭りの風景が思い浮かぶように、一気に引き込まれる演奏でした。

感動したのは音楽だけではなく、志多らの皆様の動きは大きくしなやかさもあって、それを大人数であわせることができた一つの大きな芸術を目で感じることもできました。音の旋律ではなく、響きを感じる和太鼓。日本の美しく伝統的な芸術を披露していただき、貴重な体験ができて心から嬉しく思います。



意欲的な活動をする生徒たちを応援するため、ご協力をお願いします。

ご寄付のお願い

藤枝明誠中学校高等学校では部活動への支援や教育施設・設備整備のための寄付金を募集しております。詳しくは学校ホームページまで。
(寄付金額に応じて税制上の優遇措置を受けることができます。)

寄付募集要項

目的／教育環境の充実を図ることを目的とします
 使途／施設・設備等の整備や部活動への支援のため
 募集期間／令和8年3月31日まで
 寄付方法／現金または振込をお願いします

■ 詳しくは学校ホームページをご覧ください

<https://www.fgmeisei.ed.jp/donation/>





34 HR 紅林 佑太
(牧之原市立相良中学校出身)



全国ベスト4への挑戦

第104回全国高校サッカー選手権静岡県大会準々決勝／ベスト8

私たちは全国大会ベスト4を目標に日々努力し、3年間練習してきました。初戦の日大三島高校との試合では緊張もあり、開始数分で失点してしまいました。しかし、部員や観客の皆様の応援のおかげで逆転勝利をすることができました。準々決勝では、相手がインターハイやプリンスリーグで負けた藤枝東高校ということもあり、これまでの借

りを返そうという気持ちで挑みました。しかし延長戦の後半で1点取られてしまいました。個人としても攻撃の選手でありながら得点を決めることができず、課題が多く見つかった試合になりました。この大会を終えて、サッカーだけでなく人としても成長させてくれた監督や指導者、最後まで応援してくれた部員や家族に感謝しています。そして、この経験を今後の人生に活かしていきたいです。



第78回全国高等学校バスケットボール選手権大会 WINTER CUP 2025 静岡県大会

優勝

全国高校選手権静岡県予選が11月9日に静岡県武道館で行われました。男子決勝リーグ最終戦が行われ、本校は浜松開誠館を104-64で退け3戦全勝し、4連覇で10度目の全国大会(12月23日開幕、東京体育館／京王アリーナTOKYO)に出場します。



I'LL ALL COSTS!何があっても

31 HR 高松 悠季
(大分県明豊中学校出身)



先日おこなわれたウィンターカップ静岡県予選で優勝し、本選への出場権を獲得

得することができました。初戦から沢山の応援をいただき、ありがとうございます。今大会では主力の大怪我があり、スタートのメンバーが変わり、一人ひとりの役割が不明確になってしまったという課題が残りました。

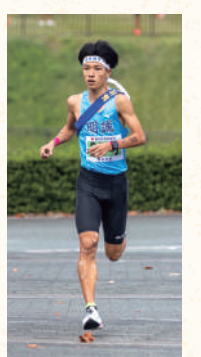


目指せ 全国優勝

した。今後この課題を克服するために、自分のやりたいことをするのはなく、チームのために何が必要かを一番に考えて行動することが大切だと思います。そして、チームとしては夏のインターハイ一回戦敗退という悔しい結果があります。敗因である3年生の自覚の無さという点は少しずつ良くなってきていると感じます。ウィンターカップの結果は、3年生がどれだけチームを引っ張ることができるかで変わります。昨年のベスト8の壁を越えられるように、チャレンジャーとして挑み、チーム全員で日本一を取ります。これからも応援宜しくお願いします。

令和7年度静岡県高等学校対校駅伝競走大会 第2位

令和7年度静岡県高等学校対校駅伝競走大会が11月2日(日)にエコパスタジアム周辺コースにて実施されました。3区までは、トップをキープし健闘したものの、本命視されていた浜松日体高校に続いて第2位



【各区分の結果】
1区 平山 斗夢 (32HR) 区間4位
2区 梁瀬 伊織 (34HR) 区間賞
3区 栗田 颯士 (33HR) 区間3位
4区 熊切 一蓮 (34HR) 区間4位
5区 木瀬 朝陽 (35HR) 区間2位
6区 落合 廉 (31HR) 区間9位
7区 高橋 悠希 (23HR) 区間賞

ローガンは「笑顔。笑顔で棒をつなぎ、楽しみながら走ることを意識しました。私自身、これまで大舞台を走った経験がなく、自信が持てない部分もありました。しかし、監督やチームの仲間、応援してくださる方々の期待に応えられるような走り心掛けて挑みました。結果は惜しくも第2位となり、昨年のリベンジを果たすことはできませんでした。強い絆で走り切ったこの経験を次に活かしていきます。沢山の応援、ありがとうございました。

第28回東海高等学校新人陸上競技選手権大会

第28回東海高等学校新人陸上競技選手権大会が草薙総合運動場陸上競技場で10月25日(土)～26日(日)に開催されました。高校1、2年生の新進気鋭の選手たちが東海エリアの頂点を競い合いました。

- 男子走高跳／第5位(1m93) 森田 悠斗(24HR)
- 男子やり投／第6位(55m01) 萩原 啓正(24HR)
- 5000m競歩／第5位(23分25秒30) 仁多見 粹鳳(21HR) 第8位(24分35秒87) 原 侑希(22HR)



私は新人戦静岡県大会の走り高跳びで優勝し、人生で初めての東海大会へ出場しました。中学生の頃は県大会にも出場できないような実力であったため、コツコツと練習に励み、上位大会を目指していました。昨年は怪我が多く、思うような記録には届いていませんでしたが、今年は明誠OB

24 HR 森田 悠斗
(掛川市立東中学校出身)

夢に見ていた大舞台

ASAHI UNIV. 41st ENGLISH SPEECH CONTEST



英数科国際教養コース
26 HR 西尾 天希
(吉田町立吉田中学校出身)

『第41回高等学校英語弁論大会』が11月9日(日)に開催されました。朝日大学の建学の精神「国際未来社会を切り開く社会性と創造性 人類普遍の人間性 知性に富む人間の育成」という教育理念を具現化することが企図されました。



私は今回、朝日大学主催の「第41回高等学校英語弁論大会」に参加しました。1次審査では、原稿内容のみで審査され、今年は、全国から126名の応募があり、24人選出されました。その24名の中に選ばれ、実際に朝日大学まで行って5

分間の英語スピーチをしてきました。ファイナリストには、北海道から沖縄まで、全国の様々な地域の生徒が選ばれており、長期の海外留学経験がある子も多くいました。私には無い経験から生まれる悩みや、母国が違うが故に起こるカルチャーショックなど、新しい発見、見方を得られたと思います。実際に話してみると、同じ日本でも意外な文化、考え方や日常の違いなどがたくさんあり、とても驚きました。この経験を今後活かしていきたいです。

SHIGA2025国民スポーツ大会



【ライフル射撃】
ビーム・ライフル少年男子立射60発競技
悔しく終えた国民スポーツ大会
普通科リベラルHSコース
24HR 秋山 和輝 (藤枝明誠中学校出身)

私は国民スポーツ大会の射撃競技BR60Jに静岡県代表として出場しました。今回私は、予選の東海大会を623点という自己最高点の記録で突破し、最高の状態で全国大会に臨みました。しかしながら、本選では良い結果を出すことはできませんでした。試合の後、なぜ満足のいく結果を出せなかったのか振り返ったところ、一番の反省点は銃の調整の甘さだと考えました。ライフル銃には一番後ろにバットプレートというパーツが付いているのですが、これを外し忘れ、決めていた調整が全て元の位置に戻ってしまっていました。これが事前の練習で調整できず、私の精神面も不安定なまま本番を迎えてしまったことが大きな原因でした。このようなミスをしないよう、今後も練習を重ねていきます。応援ありがとうございました。



【バスケットボール】
少年男子
国民スポーツ大会での経験を今後
英数科アクティブASコース
16HR 森 秀野 (北海道北見市立南中学校出身)

私は国民スポーツ大会バスケットボール競技に静岡県代表として出場しました。このチームは明誠の生徒が多く、普段から一緒にプレーをしているチームメイトが中心でしたが、最初は思うようにチーム作りができませんでした。いつも支えてくれていた先輩方がいない中で、誰がチームを引っ張るのかという課題があったからです。しかし、練習や試合を重ねるうちに、互いに「自分たちが引っ張る」という自覚を持ち、行動で示すことができました。その結果、東海ブロック予選を突破し、全国大会第5位という成績を収めることができました。この経験で培った主体性と協調性を生かし、今後は日本一を目指して努力していきます。